

「高齢者の精神症状への対応に関する訪問看護師の困難感を踏まえた学習ニーズと学習意欲向上要因の探索的検討」
について

～研究の説明文書～

研究機関の名称： 名古屋市立大学大学院

研究責任者： 看護学研究科 精神保健看護学 谷向 仁

名古屋市立大学大学院 看護学研究科 在宅看護学
秋山明子

名古屋市立大学大学院 看護学研究科 高齢者看護学
平田弘美

研究分担者： 名古屋市立大学大学院 看護学研究科 看護地域連携センター
久保田正和

名古屋市立大学大学院 看護学研究科 看護研究推進センター
今福輪太郎

名古屋市立大学大学院 看護学研究科 精神保健看護学
今泉源

この説明文書は、あなたにこの研究の内容を正しく理解していただき、この研究に参加するかどうかを判断していただくためのものです。参加するかどうかは、あなたの自由な意思で決めてください。

この説明文書に書かれている内容について、すべて理解した上で研究に参加をしていただける場合は、アンケート冒頭の同意書欄（ 同意します）にチェックを入れてください。

分からないことや不安なことがある場合は、研究責任者にお聞きください。

1 はじめに

この研究は、名古屋市立大学看護学研究科研究倫理委員会の審査を受け、看護学研究科長に承認されています。

2 この研究の実施体制

この研究は、名古屋市立大学が単独で実施します。

	研究機関の名称	研究責任者
研究代表機関	名古屋市立大学大学院 看護学研究科 精神保健看護学	谷向 仁（研究代表者）

3 この研究の目的、意義

（背景）日本は超高齢社会を迎えており、病院のみならず在宅医療を利用する高齢者の需要が高まっています。高齢者は、認知症、うつ病、せん妄などの併存頻度が高いですが、在宅医療の要となる訪問看護師の方々へのこれまでの調査では、「精神的問題への対応の不安」「対応などの学習機会（時間）確保の難しさ」が報告されています。

（目的）訪問看護師の方々が、高齢者の精神症状（認知症、うつ病、せん妄など）に対応する際に感じる困難感や学習のニーズ、学習への参加意欲とその関連要因を明らかにし、病院勤務とは環境が異なる訪問看護師への効果的な学習プログラム開発のため基礎資料とすることを目的としています。

（意義）本調査にて得られた知見をもとに、現場で実践しやすい短時間・実用的な教育プログラムを設計することで、訪問看護師の方々の対応力、自己効力感の向上を図り、地域における在宅療養支援体制の質的向上に広く寄与することが期待されます。

4 あなたがこの研究の対象者に選ばれた理由

以下の項目の全てが当てはまる方に、この研究にご協力をお願いしております。

①訪問看護に従事し、高齢者（65歳以上）あるいは認知症の人の訪問看護に従事している訪問看護師

②研究の説明を読み、研究参加に同意した訪問看護師

ただし、以下の項目に1つでも当てはまる場合は参加していただけません。

①管理業務のみ担当しており、これまでに訪問看護の実務に従事した経験のない訪問看護師

②日本語の理解が困難な訪問看護師

5 この研究の方法および実施する期間

1) 研究実施期間

この研究の実施を許可された日から西暦2028年3月31日まで

あなたが実際に本研究に参加いただける期間は、同意をいただいた日から 2026 年 8 月 10 日までです。

2) 研究対象者の数

全体で 100 名程の方に参加いただく予定です。

3) 研究の方法

全国の訪問看護に従事する訪問看護師の方々を対象に、オンラインによる無記名自記式質問紙による調査をさせていただきます。

所要時間は 10～15 分程度で、調査させていただく内容は以下の通りです。

- ①基本属性（年齢、性別、看護師経験年数、訪問看護経験年数、精神科/老年科/神経内科勤務経験、勤務地域、ステーション形態、精神科訪問看護の経験）
- ②認知症の行動心理症状、せん妄、抑うつ症状などについての対応頻度、対応の困難感、学習ニーズ、精神症状への対応困難例の経験について
- ③対応法に関する学習機会への参加、望まれる方法や時間、受講動機等

6 この研究に参加することで期待されるあなたの利益と予測される負担・リスク

《利益について》

本研究に参加することによる直接的な利益はありませんが、本研究の結果を踏まえ、訪問看護師の方々の困難感や学習したい内容、その方法のニーズを踏まえて、今後の研修プログラムの改善や教育支援体制の充実に貢献することが期待されます。

《不利益（負担やリスク）について》

不利益は特にありません。回答に 10～15 分のお時間を頂戴します。

7 研究への参加の自由と同意撤回の自由

研究への協力はあなたの自由意思によるものです。アンケート冒頭の同意の意思表示と質問紙の送信をもって同意をいただけたとさせていただきます。

本研究は無記名の質問紙調査として実施するため、個人を特定する情報は収集いたしません。そのため、回答は途中で中止することは可能ですが、質問紙の提出後は個別の回答データを特定して削除することはできません。

回答に同意されない場合や途中で回答を中止された場合であっても、あなたが不利益を受けることは決してありません。

8 研究に関する情報公開

この研究の成果は、学術雑誌や学術集会を通して公表する予定ですが、その際も参加された方々の個人情報などが分からない状態で発表します。

9 研究計画書や研究の方法に関する資料の入手・閲覧について

この研究の計画について詳しくお知りになりたい場合は、研究責任者にお申し出ください。研究に参加している他の方の個人情報や研究の知的財産等に影響しない範囲で、資料をお見せしたりすることが可能です。

10 個人情報等の取り扱い

本研究では、質問紙調査は無記名で実施し、氏名、生年月日、連絡先等の個人を特定できる情報は収集しません。

ただし、「15」に記載している「謝礼」の提供を希望される方に限り、謝礼送付のために別途設けた専用フォームにおいてメールアドレスのみを収集します。これらの情報は質問紙の回答データとは独立して管理され、相互に紐付けができない形で取り扱います。

なお、謝礼送付に用いたメールアドレスは、送付完了後速やかに削除します。

11 試料・情報の保管方法、廃棄方法

この研究の情報は、研究責任者の研究室における施錠可能なキャビネットに保管します。電子媒体の情報はパスワードを設定したパーソナルコンピュータおよびUSBに記録し、ファイルにパスワードをかけて研究責任者の研究室に保管します。保管期間は、この研究の終了について報告した日から10年を経過した日です。

保管期間が過ぎた後、試料・情報は廃棄します。試料は密封容器に廃棄あるいは焼却処分します。紙媒体の情報はシュレッダーで裁断し、電子媒体の情報は削除して復元不可能にしたうえで廃棄します。

12 あなたの試料・情報を将来の他の研究に用いる可能性や、他の研究機関に提供する可能性について

この研究では、あなたの情報を将来の他の研究に用いたり、他の機関へ提供したりする予定はありません。

13 研究により得られた結果等の取り扱い

この研究の成果は、学術雑誌や学術集会を通して公表する予定ですが、その際も参加された方々の個人情報などが分からない状態で発表します。

14 相談やお問合せがある場合の連絡先

この研究について知りたいことや、ご心配なことがありましたら、研究責任者に遠慮なくご相談ください。

【連絡先】

名古屋市立大学大学院 看護学研究科 精神保健看護学

所在地： 〒461-0004 名古屋市東区葵 1丁目 4-7

電話番号： 052-982-7395

(対応可能な時間帯) 平日 9時から 17時まで

対応者： 谷向 仁

15 あなたの費用負担、謝礼の有無

この研究に参加することによって、費用の負担を求めることはありません。

この研究に参加し最後までご回答いただき送信を完了いただいた方には、500円分の謝礼（QUOカード Pay）を差し上げます。（謝礼の提供は、質問紙とは別に設けた専用の登録フォームを用いて行い、メールアドレスのみご登録をいただきますが、その管理および謝礼の送付は、研究データの解析を担当する者とは別の担当者が行い、研究データと個人情報結び付くことのないよう管理します）。

16 この研究に参加しない場合の治療方法等について

この研究は治療を伴う研究ではないため、該当しません。

17 研究実施後の医療の提供に関する対応

この研究は医療の提供に関する研究ではないため、該当しません。

18 研究によって生じた健康被害に対する補償の有無、その内容

この研究に参加しても健康被害が生じる可能性はないため、該当しません。

19 モニタリングおよび監査について

研究がきちんと行われているか、または研究結果の信頼性があるか確認するため第三者が行う調査を、モニタリングや監査といいます。

この研究では、モニタリングや監査を行う予定はありません。

20 この研究の資金源および利益相反について

この研究は、「ななーる訪問看護デベロップメントセンター」から資金の提供を受けて実施します。利益相反の状況については、名古屋市立大学大学院医学研究科医学研究等利益相反委員会に必要事項を申告し、適切に管理しています。

21 研究成果の帰属について

この研究で得られるデータに関しては、研究者もしくは研究者の所属する研究機関が権利保有者となります。この研究で得られるデータを対象とした解析結果に基づき、特許権等が生み出される可能性があります。ある特定の個人のデータから得られる結果に基づいて行われることはありません。したがって、このような場合でも、あなたが経済的利益を得ることはなく、あらゆる権利は、研究者もしくは研究者の所属する研究機関にあることをご了承ください。

